

# ほうれんそう



## 主な掲載内容(令和6年2月定例会)

定例会の概要.....2	討論・賛否の状況・意見書.....6	令和6年度補正予算.....16
令和6年度当初予算の概要.....3	代表質問.....7	表紙写真.....16
令和6年度主な事業.....4	一般質問.....10	次期定例会日程(予定)のお知らせ.....16
委員会審査.....5	議員向け研修.....15	

ほうれんそう／ほうこく・れんらく・そうだんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

－ 令和6年2月定例会 －

# 令和6年度いわき市一般会計当初予算案 など 77 議案等を可決・同意

## 定例会の概要

令和6年2月定例会は、2月15日から3月7日までの22日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、条例の廃止案2件、改正案20件、補正予算案14件及び当初予算案21件など、計68件の議案が提出され、主な提出議案等の説明が行われました。

また、本会議6日目には、市長から、補正予算案2件が追加提出され、さらに、本会議最終日には、市長から、条例の改正案2件及び人事案3件が追加提出されたほか、議員から、意見書案2件が提出されました。

これらの議案等について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

### 条例改正

#### ◆いわき市集会所条例の改正

市立集会所は、地域集会所の所有管理の一元化と費用負担の公平化を図るため、地区同意の下、自治会等への無償譲渡または用途廃止をすることとしており、次の集会所について、自治会に譲渡することから、公の施設としての用途を廃止するため、所要の改正を行うものです。

【施行日】 令和6年4月1日

#### ◆いわき市上釜戸集会所

- ▶ 位置 渡辺町上釜戸字 堤ノ内58番地の1
- ▶ 構造 簡易耐火平屋建
- ▶ 延床面積 96.47㎡
- ▶ 建築年度 昭和57年度

－管理運営主体 上釜戸区－

#### ◆いわき市立小学校及び中学校条例の改正

いわき市立草野小学校絹谷分校について、令和5年度末に廃止する方針を決定したことに伴い、所要の改正を行うものです。

【施行日】 令和6年4月1日

#### ◆いわき市立草野小学校 絹谷分校

- ▶ 位置 平絹谷字 四反田30番地
- ▶ 構造 木造
- ▶ 延床面積 616.00㎡
- ▶ 建築年度 昭和34年度

#### ◆いわき市市営住宅条例の改正

令和5年台風第13号により被災した市営住宅白水町上代団地1団地61戸を用途廃止し、条例から削除するため、所要の改正を行うものです。

#### ◆用途廃止による削除

位置	戸数		
	改正前	削除数	改正後
内郷白水町上代35番地	109	43	66
内郷白水町長槻41番地	18	18	0

【施行日】 公布の日

市全体の市営住宅管理戸数  
改正後 7,779戸

### 財産取得

#### ◆消防団CD・I型消防ポンプ自動車（2WD）

令和5年台風第13号の影響による大雨で被害にあった車両を更新するものです。

- ・数量 1台
- ・金額 222.2万円
- ・目的 非常備消防用
- ・納期 令和6年12月27日



－配備計画－  
第3支団

### 人事案に同意

- 副市長 安藤 靖雄氏
- 教育長 服部 樹理氏
- 田産区管理委員 小田 富雄氏

## 1 「人づくり日本一」の実現を目指した政策の推進 4つの政策の柱

### 01 次世代を育てる

～ひと：地域人財の育成～



- 教育
- 子育て
- 地域づくり

### 02 命・暮らしを守る

～安全安心の充実強化～



- 防災
- 医療
- 福祉/健康/地域共生社会

### 03 まちの魅力 を高める

～まち：地域価値の向上～



- まち(市街地/中山間)
- DX/GX
- 地域交通

### 04 豊かさ を創る

～しごと：地域産業の振興～



- 産業
- 農林水産
- 観光/文化/スポーツ

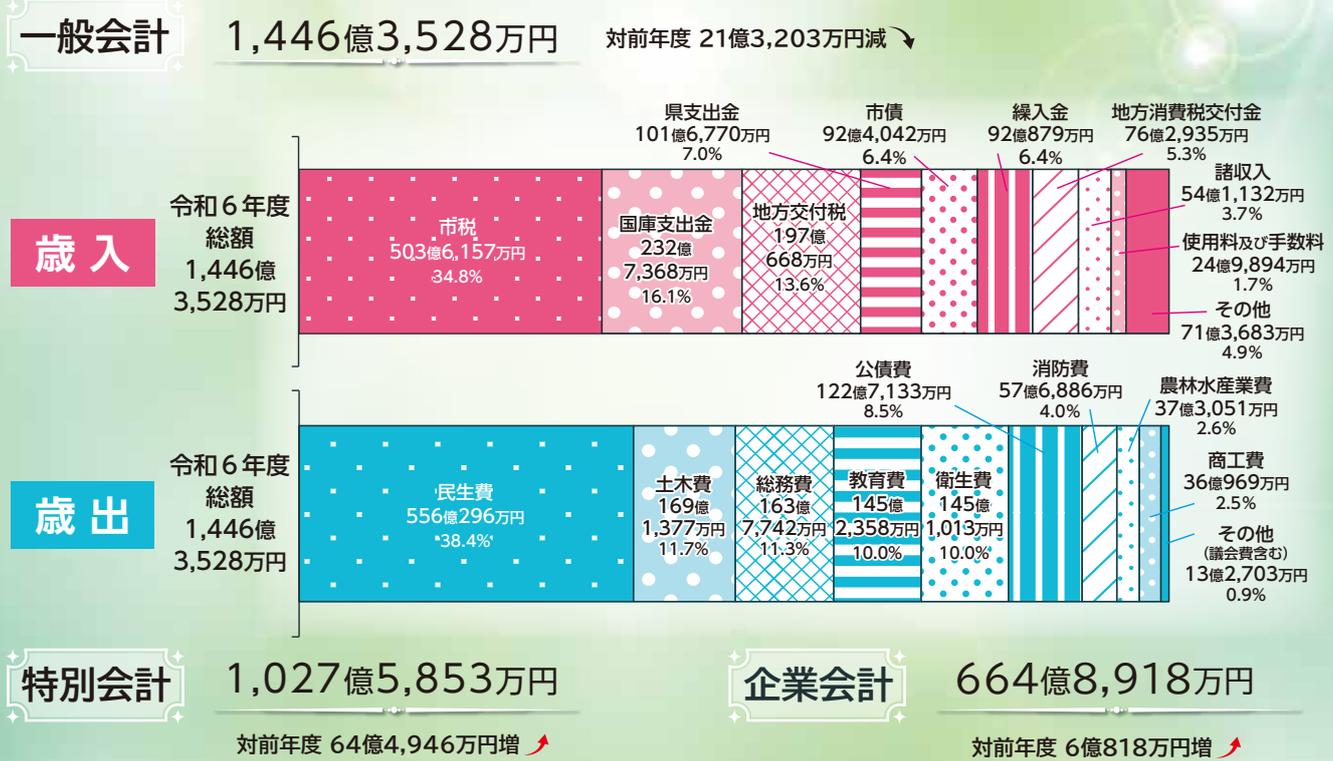
## 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立 支える改革 五本の矢

- ▶ 改善や見直しを徹底的に推進
- ▶ 構造改革の取組を着実に推進
- ▶ 行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分するため、既存の取組のスクラップを躊躇なく実行



## 当初予算の総額 3,138億8,299万円

— 会計別の金額は次のとおりです —



※ 表示単位未満を四捨五入しており、積み上げが合計と一致しない場合があります。

## 01 次世代を育てる

- ◎多様な学びの場整備事業 NEW 1,371万2,000円  
 チャレンジホーム設置箇所数を拡充【4→5か所】
- 「多様な学び」を支える支援員事業 2億8,560万1,000円  
 支援員を増員【140→150人】
- ◎こども家庭センター運営事業 NEW 1,656万7,000円  
 児童福祉と母子保健の相談支援を一体的に行う「こども家庭センター」を地区保健福祉センターに設置



## 02 命・暮らしを守る

- ◎消防団DX推進事業 NEW 396万円  
 迅速・的確な消防活動の実施や利便性向上に向けた消防団専用アプリを導入
- 地域医療確保推進事業 1,666万7,000円  
 医師招聘を強化
- 「スポーツの力」健康的な人・まちづくり推進事業 2,089万7,000円  
 新たに保健指導サポートプログラムを実施
- いわきっ子生活習慣病予防健診事業 632万3,000円  
 市内全公立・私立中学校に拡大

## 03 まちの魅力を高める

- 地域おこし協力隊活動事業 4,529万1,000円  
 隊員の募集・受入体制を強化
- ・小さな拠点形成支援事業 124万7,000円  
 生活サービス機能や活動拠点を一定程度集積した小さな拠点づくりに対し、必要な経費の一部を助成
- ◎DX人材育成事業 NEW 623万7,000円  
 市役所のDX推進の中核を担うデジタル人材を育成
- ・ゼロカーボン・人づくり推進事業 222万7,000円  
 公民連携によるゼロカーボン教育等を推進

## 04 豊かさを創る

- ◎F-REIと挑む産業のみらい創造事業 NEW 852万5,000円  
 F-REIと地域産業界の連携を強化
- ◎カーボンニュートラル人材育成支援事業 NEW 300万円  
 地域の脱炭素化を牽引する人材を育成
- 豊かな森づくり担い手確保育成支援事業 1億625万9,000円  
 森林認証取得等支援を補助対象に追加
- いわきが生んだ著名芸術家による人づくり推進事業 864万7,000円  
 本市出身芸術家による公演事業回数を拡充【1→2回】

### 公 共施設等の老朽化等対策

- ・道路構造物長寿命化事業 10億5,953万4,000円
- ・小・中学校長寿命化改修事業 9億4,997万2,000円
- ◎都市下水路整備事業 NEW 2,500万円  
 勿来町関田地区に、雨水管渠を整備するための実施設計を実施

### 構 造改革関連事業

- ◎会計事務デジタル化事業 NEW 962万5,000円
- みんなの市役所デジタル変革事業 10億5,199万5,000円
- ◎契約デジタル化事業 NEW 103万4,000円



### そ の他の主要事業

- ◎消防指令システム等整備事業 NEW 13億6,637万7,000円
- ◎墓地公園環境改善事業 NEW 679万3,000円
- ◎クルーズ船おもてなし事業 NEW 212万8,000円



## 委員会 審査

本会議7日目の2月27日及び最終日の3月7日に、計72議案の付託を受けた4常任委員会は、2月28日から3月1日まで及び3月7日に委員会を開催し、議案審査を行いました。その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとの結論に達しました。審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。 Check!

### 政策 総務

常任委員会

#### ◆ 令和6年度いわき市一般会計予算

**Q** 伝わる広報事業費について、公平性・公正性・中立性の観点から、誤解を与えないような広報の在り方に関する考え方は。

**A** 市民が主役の広報紙という観点を基本としながら、他市の状況を調査し、どのような広報が望ましいか、検討していく考えです。

**Q** ALPS処理水風評対策・モニタリング事業について、令和6年度から新たな外部機関に委託するトリチウム検査は、いつ頃から開始するのか。

**A** 年度当初の早い時期に契約し、年4回実施する予定です。  
東京電力が計画する処理水放出に対応できるよう、適切なタイミングで実施する考えです。

### 市民 生活

常任委員会

#### ◆ いわき市水道事業給水条例の改正

**Q** 国の所管が、厚生労働省から国土交通省等に変更になることによる利点は。

**A** 災害により被害を受けた場合や、上下水道の施設の整備等を一体的に取り組む場合に、これまで該当しなかった補助制度が適用できる等の利点が想定されます。

#### ◆ 令和5年度いわき市一般会計補正予算 (第9号)

**Q** 地域おこし協力隊員の年度途中退職の理由は。

**A** 元々、令和5年度末までの任期であったところ、予定より早く新たな就職先が見つかったものであり、退職後も、市内に在住し、地域活動を継続されています。

### 教育 福祉

常任委員会

#### ◆ 令和6年度いわき市一般会計予算

**Q** 多様な学びの場整備事業について、チャレンジホームを1か所増設することとなった経緯は。

**A** 現在、平、小名浜など、比較的児童生徒が多い地区の公民館等に設置していますが、本市が広域であることを鑑み、設置していない地域へ、新たに1か所整備を進めることとなったものです。

**Q** ヤングケアラー支援体制強化事業について、ヤングケアラーの実態及び支援の内容は。

**A** ヤングケアラーは、早期発見が重要であり、これまで、チラシの配布や関係機関への研修会を実施してきたところです。相談件数は、現状10件にも満たないものの、必要な方へは、ヘルパーの派遣等の支援を行っています。

### 産業 建設

常任委員会

#### ◆ いわき市市営住宅管理条例の改正

**Q** 今回の改正により、DV被害者の市営住宅への優先入居に変更は生じるか。

**A** これまでも、DV被害者の優先入居を行っており、今回の改正による変更は、特にありません。  
むしろ、条例で引用する法律の条文の中で、精神的な被害を受けた方も優先入居の対象とされているため、制度として拡大されます。

#### ◆ 令和6年度いわき市一般会計予算

**Q** 生活交通維持対策補助事業について、当該事業の実施により、廃止予定とされていた路線が、どのように改善されるか。

**A** 本事業の実施及びダイヤ等の工夫により、廃止予定だった路線中、平・好間間をはじめ、5区間の路線維持・確保が可能となる予定です。

## 討論

**討論とは？**  
 表決に先立ち、議案等に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明すること。

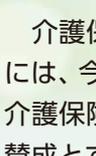
本会議最終日の3月7日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。

なお、本議案については、賛成多数により可決しました。

## いわき市介護保険条例の改正



**反対** 所得段階第1～第3段階における保険料率（年額）を減額することは評価できるが、所得段階第4段階以降を増額することには反対である。



介護保険の適切な運営に必要な保険料の確保を図るためには、今回の介護保険料の引上げはやむを得ないため、今後、介護保険事業の健全な運営に鋭意取り組まれるよう要望し、**賛成**とする。



**反対** 物価高騰の影響により、可処分所得が減少している中での介護保険料の引上げは、経済的負担による介護サービスの利用控えや、市民生活の質の低下につながることから、反対である。

## 議案に対する賛否の状況

本会議最終日の3月7日には、今期定例会に提出された議案に対する採決を行いました。採決にあたり、賛否の分かれた5議案について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。  
 ※ 下表中の()は、会派の所属議員数です(議長は採決に加わりません)。創世会は、欠席議員1名が採決に加わりません。

議案名	議決結果	一誠会 (10人)		志帥会 (8人)		創世会 (7人)		公明党 (4人)		つつじの会 (2人)		共産党市議団 (2人)		自民党改革の会 (1人)		正論の会 (1人)	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
		いわき市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について	原案可決	10		7		6	4	2		2	1	1			
いわき市介護保険条例の改正について	原案可決	10		7		6	4	2		2	1	1					
令和6年度いわき市一般会計予算	原案可決	10		7		6	4	2		2	1	1					
令和6年度いわき市介護保険特別会計予算	原案可決	10		7		6	4	2		2	1	1					
令和6年度いわき市下水道事業会計予算	原案可決	10		7		1	5	4	2		2	1	1				

## 意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めため、国会または関係行政庁に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の2件を可決しましたので、要望事項について、抜粋して掲載します。



### 物価上昇に負けない賃上げの実現を求める意見書

- 赤字法人が多い中小企業や医療法人等も活用できるよう、賃上げ促進税制を拡充すること。
- 赤字でも賃上げする企業に対し補助金の補助率を引き上げるなど、中小企業の賃上げを強く後押しすること。
- 国内投資の拡大等により賃上げの原資を生み出すなど、企業の稼ぐ力を強化すること。

### 食料安全保障の強化を求める意見書

- 農林水産業従事者への支援策の充実・強化を図るとともに、生産資材の安定供給体制を確実に確保すること。
- 水田等を有効活用した生産拡大が可能となる支援をはじめ、食品事業者における国産原材料への切替え促進や新商品開発等の支援を強化すること。
- 新規就業者の定着・経営発展に向けた支援の充実強化を図ること。

各会派の代表者4名が

新年度の施政方針等について質問！

ズバリ聞きたい

# 代表質問



2月19日及び20日には、代表質問を行いました。代表質問は、所属議員3人以上の会派が、当初予算を審議する議会に限り、行うことができます。

今回は、各会派を代表して4名の議員が行いましたので、その主なものを掲載します。

なお、この文章は、質問議員自らが作成しています。

QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。

## 一誠会



馬上 卓也



### 教育環境の整備は

**問** 地域で人を育てる取組とICTの活用は。

**答** 「地域が人を育み、人が地域をつくる」という理念の下、各分野のスペシャリスト等との連携を図り、児童生徒

が夢を持てるよう各種施策を実施しています。また、児童生徒にタブレット端末を家に持ち帰るようお願いし、調べ学習やデジタルドリル学習等に活用しています。今後、学校横断的なオンライン交流学習を通じ、地域の方々とともに夢を与える学びの機会を創出できるよう検討します。

### 医療施策の取組は

**問** 医師招聘と院内デジタル化の取組は。

**答** いわき市医療センターでは、市長を先頭に大学医局等への働きかけを行うほか、寄附講座や連携講座の設置など、医師招聘の取組を行ってきました。現在の医師数は140名であり、震災後最多となったものの、中堅医師の不足が課題であることから、「いわき市病院医師修学資金貸与事業」の返還免除対象の勤務先を市内病院全体に拡大するな

### 持続可能な水道行政を

**問** 今後の事業運営は。

**答** 「いわき水みらいビジョン2031」の経営効率化の取組として、水道施設の適正化・効率化等15事業を位置づけ、今後も、さらなる収入増加、経費節減に向けた取組を検討していく必要があります。

### 医療施設との連携

水道事業経営を取り巻く環境は、人口減少に伴う給水収益の減少等の課題が山積しており、経営効率化の観点から、DXの推進等、前例にとらわれないことなく持続可能な経営基盤の確立に努めていきます。

### 選ばれるまち小名浜に向けた

まちづくりは

**問** まちづくりの方針は。

**答** 都市機能の集積・強化を図るため、小名浜港やアクアマリンパーク周辺の観光交流

機能の充実と拠点機能の向上に取り組みます。また、現在、事業実施中の小名浜道路、国道6号勿来バイパス等主要幹線道路の整備に加え、さらなる観光振興を図ります。公共施設については、民間活力等を活用し、施設の形で維持すべきものは新築・改築時に集約・複合化し、時代に対応した在り方を検討します。



▲現在工事中の国道6号 勿来バイパス



▲現在工事中の小名浜道路

### 「2025年の崖」問題の対応は

**問** 市情報システムの課題は。基幹業務の大部分はカス

タマイズを重ね、独自展開をしているため、維持管理の負担や技術者の不足が懸念されています。今後、国が進める標準化・共通化に取り組むことにより、職員負担軽減・導入費用軽減につながることを期待されます。

### その他の質問

○令和6年度市政運営は  
○行政広報の在り方は



## 志帥会



永山 宏恵



### 市政運営の方針は

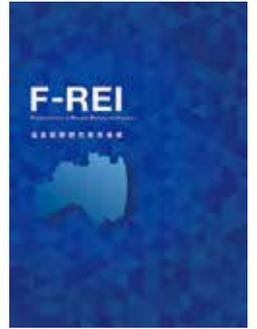
**問** 令和6年度の方針は。

**答** これまで一貫して、「人づくり日本一」を政策の旗印に掲げ、様々な取組を進めてきました。未来を切り拓くには、人の力の結集が必要不可欠です。改めて、市民の皆様と想いを共有し、「人づくり日本一」の実現に向け、積極

果敢に政策を進めます。市政運営にあたっては、政策の柱に、「次世代を育てる、命・暮らしを守る、まちの魅力を高める、豊かさを創る」の4つを掲げ、喫緊の課題に対応しながら、各分野における様々な取組に挑戦します。

**問** 志帥会の会派要望を、令和6年度当初予算にどのよう  
に反映させたか。

**答** 12の政策の柱に沿って示された要望は、いずれも重要なものと受け止めています。要望の趣旨を踏まえた当初予算の主な内容は、市内企業の魅力等の「見える化」の推進による人財確保支援、消防団専用アプリの導入、部活動の地域移行に向けた環境整備、「こども家庭センター」の設置、福島国際研究教育機構（F-I R E I）と地域産業界との連携強化、国立大学法人福島大学食農学類との連携による農業の課題解決に向けた実証事業、医療人財の育成、既存公共交通の維持に向けた事業者支援、地域の実情に応じた移動手段の確保等に要する経費を計上しました。将来に希望を持てる社会実現のための予算を編成できたと考えます。



▲F-REIパンフレット

詳細はこちらを↓



### 構造改革の取組は

**問** 今後の決意は。

**答** 来年度は、集中改革期間の最終年度です。市民の皆様  
に、市役所が変わった、便利  
になったと実感してもらえ  
るよう構造改革を加速させる  
ため、令和6年度に、「構造改  
革・DX推進課」を新設しま  
す。同課が旗振り役となり、  
次の時代へ「生み出す」改革  
を実現するため、全庁一丸と  
なって改革・改善を進めます。

### 次世代を育てる取組は

**問** 学びの質の向上に向けた  
取組は。

**答** 新しい学校カルテシステ  
ム、「学校・学級デジタルシ  
ステム」を開発しました。当  
システムは、教科学力や非認知  
能力、学習方略等をクロス分

析した結果を可視化し、教職員一人一人が各種データを閲覧することができるため、分析結果を学級経営等に活用することで、より一層学びの質の向上が図られると考えます。

### 命・暮らしを守る 取組は

**問** 医師不足の解消に向けた  
今後の進め方は。

**答** 市長就任後、様々な施策  
を講じ、本市の病院の常勤医  
師数は、令和2年の301人  
から、令和5年には322人  
に増加しました。令和6年度  
は、「医療対策課」の新設と  
ともに医師招聘推進企画官を  
配置し、医療構想会議を中心  
とした医師確保を推進します。



### その他の質問

○令和6年度の組織再編は  
○逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ  
に向けた基本的な考え方は  
○インバウンド誘客を効果的  
に進める上での考え方は

## 創世会



佐藤 和良

創世会の予算要望について  
令和6年度当初予算への反映は

**問** どのように反映されたか。

**答** 9つの政策の柱に沿って  
示された要望の趣旨を踏まえ、  
市管理の準用河川及び普通河  
川の流域治水対策に取り組む  
ための経費、医師不足解消に  
向け、大学医学部と連携した  
寄附講座の拡充等に要する経  
費、特別支援教育における支  
援員の増員に要する経費、既  
存公共交通の維持に向けた事  
業者支援等を強化するための  
経費、林業経営の担い手の確  
保・育成や森林認証取得を支  
援するための経費を計上して  
います。

### 市長の政治姿勢と 市政運営を問う

**問** 官民共創のプラットフォーム  
の構築、「公民連携によ  
る調査研究機関」行動するシ  
ンクタンク」の創設に向けた  
検討は。

**答** 市内団体等の動向も注視

しながら、本市の実情に応じた住民自治の在り方、それらを支える人財や団体の在り方、その育成の方策等を、引き続き検討していきます。

**問** 令和5年広報いわき10月  
臨時号に係る市民世論及び議  
会の議論等をどう捉えるか。

**答** 市長の被災地での活動写  
真を多く採用したことで、市  
長の政治的パフォーマンスに  
見えるといった印象や、ボラ  
ンティア募集等、他に掲載す  
べき情報があったのではとい  
った意見につながったと捉え  
ており、今後の広報紙作成の  
参考とすべき貴重な意見であ  
ると受け止めています。



### 市長年頭所感のポイントのうち 教育に係る多様な学びの場への取組は

**問** 支援体制の構築は。

**答** 不登校児童生徒の学校生  
活への復帰を目的とするチャ  
レンジホームを、今後3年間  
で、8か所に拡充する計画で  
す。施設の運営は、市教育委  
員会が主体となり、指導員は、  
退職教員等、子供の心に寄り  
添える教育経験豊かな外部人  
材を活用していく考えです。



▲いわき市文化センター内にある  
平チャレンジホーム

## 泉地区における 公立保育所の再編計画は

**問** 区長会の要望への対応は、  
**答** 要望を真摯に受け止め、新園舎の整備を一時中断して、実現可能性を検討したものの、泉もえぎ台用地に整備する場合の課題や保護者の意見、早期再編の必要性を総合的に勘案した結果、要望に沿った整備は困難であると判断し、当初の計画どおり進めることとしました。

## いわきFICの新スタジアム 整備計画の見通しは

**問** Jリーグスタジアム基準の改定による影響は。  
**答** スタジアムの入場可能数が、一定の要件を満たすこと

を条件に、5000人以上となったことで、周辺地域の人口等も考慮した適切な規模での整備が可能となり、建設候補地の選択肢が広がるなど、地域の実情を踏まえた適切な対応が可能になると考えます。

## 令和6年能登半島地震を受けて 原子力災害対策の強化を

**問** 国に、原子力災害対策指針の見直しを求めるべきでは。  
**答** 今後の原子力規制委員会等での議論を注視するとともに、市が策定する実効性ある避難計画の支援を要望します。

## 公明党



小野

茂



## 暮らしを守る 物価高対策は

**問** 低所得者等への本市独自の支援策は。  
**答** 今後、本市の実情に応じ、必要な分野へのきめ細やかな支援策を検討します。

**問** 中小企業への新たな経済対策は。  
**答** エネルギー高騰の影響を

受け、2024年問題も抱える運送事業者等に対し、緊急支援を継続する考えです。また、賃金引上げに率先して取り組み、人材確保に挑戦する企業を後押しする考えです。

## 公明党令和6年度 予算要望への対応は

**問** 当初予算への反映は。  
**答** 4つの政策の柱に沿って示された要望のうち、1つ目の柱「復興第二期創造的発展へ」では、市内中小企業の脱炭素化に向けた取組を支援する経費等を計上しています。

2つ目の柱「デジタル社会の構築」では、LINE市役所の導入に要する経費等を計上しています。3つ目の柱「人が輝き地域をつなぐまちづくり」では、不登校の児童生徒を対象とするチャレンジホールの拡充に要する経費等を計上しています。4つ目の柱「命と暮らしを守る防災減災のまちづくり」では、流域治水対策に取り組むための経費等を計上しています。

**問** 福島国際研究教育機構（FIREE）や関係事業との連携強化の取組は。  
**答** FIREEとの連携によ

る創造的復興の実現に向け、概ね施設整備がされるまでの期間である「支援・提案期間」では、地元企業が参画できる分野や技術を洗い出し、地元企業が開関することができるとの研究や技術等の提案に取り組めます。それ以降の期間である「連携促進期間」では、研究成果を活用した地元企業の再構築やスタートアップ支援等に取り組めます。こうした考えの下、令和6年度当初予算案に、FIREEと地域産業界の連携強化の基盤構築に係る経費を計上しました。

## 地方創生に向けた 取組は

**問** 子育て世帯への公営住宅の対応は。  
**答** 令和4年4月から、子育て世帯を優先入居の対象として、毎月募集を実施しています。

**問** 自転車スポーツ等を通じた交流人口拡大への取組は。  
**答** ナショナルサイクルルートの指定に向けた取組やサイクリストが安心して楽しめる受入環境の充実と効果的なPRを実施します。また、イベントを通じた地域の魅力体験や住民との交流機会の創出、

自転車関連施設等を活用した合宿誘致等に努めます。



▲東京大学の学生による自転車合宿の様子  
(いわき新舞子ハイツ)

## 教育環境の整備を

**問** 小中学校の特別教室へのエアコン設置の整備方針は。  
**答** 図書室・音楽室等への設置を基本に、令和6・7年度での整備を想定しています。

## 誰もが大事な 頭を守る施策の推進は

**問** 注意喚起を促すリーフレットの作成・活用は。  
**答** 市医師会等の意見を踏まえて作成し、令和5年度末までに全ての児童生徒に配付する予定です。

16名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが知りたい

# 一般質問



一般質問は、2月21日から27日までのうち4日間にわたって行われ、16名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。

なお、この文章は質問議員自らが作成しており、行数は発言時間に比例します。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。



一誠会  
佐藤 和美



## 将来にわたる財政の健全性確保に向けて

**問** 今後の財政運営の基本的な考え方は。

**答** 本市の財政は、人口減少や少子高齢化により、財政的な制約が高まっていくことが想定されます。また、災害に備えるための一定の財源を確保しつつ、公共施設等の老朽化対策等にも対応していく必要があります。したがって、

財政運営にあたっては、国における制度改正の動向等を注視しつつ、事業の選択と集中による資源の再配分や財源の確保等に意を用いていきます。

## 構造改革の取組は

**問** 市が進めるデジタル施策における情報セキュリティの確保に関する市の考え方は。

**答** 不正アクセスやウイルス攻撃、情報資産の漏えい、改ざん等の幅広い脅威を想定し、必要な対策を講じていくことが重要です。このことから、個人情報等を利用するシステムの領域と外部インターネットの領域を分離するとともに、ウイルス対策や不正通信の監視を行うなど、多重のセキュリティ対策を実施し、外部の脅威から保護する仕組みを導入しています。職員に対して、研修や庁内通知において、セキュリティ意識の高揚や注意喚起を行っています。

## インバウンド施策は

**問** 海外の学校の本市への教育旅行の誘致は。

**答** 令和6年度は、教育旅行特設ホームページを開設し、旅行会社等に直接営業活動をするなど、本市の知名度向上を図ります。今後も、商談会に積極的に参加するなど、県との連携を強化し、国内外の教育旅行の誘致に努めます。



▲教育旅行に関するガイドブック

■その他の質問

○LINE市役所の取組は  
○契約デジタル化事業は

詳細はこちらを↓



## 教育環境整備の取組は



志帥会  
西山 一美



**問** ICTを活用した学習効果をどのように捉えているか。  
**答** 令和5年度に実施した教

員アンケート調査では、児童生徒の学習意欲が高まったとの回答が約9割、児童生徒が他者と考えを交流し、学び合うことができたとの回答が約8割でした。また、ICTを効果的に活用できるよう工夫することができた、児童生徒の学習評価に活用できた等の回答も寄せられ、一定の効果が得られていると捉えています。一方、ICT活用による学習の伸び代は、まだまだ大きいとも考えています。学校間で取組の度合いに差が見られることから、さらなる充実に向け、先進的な事例も参考に今後とも取り組んでいきます。

## いわき水みらいビジョン2031の取組状況は

**問** 経営効率化の取組状況は。  
**答** これまで、効率的な組織体制の構築や浄水場運転管理業務の民間委託、水道料金に

関わる営業業務部門の包括委託等により、大幅な人件費の縮減をしてきました。また、小規模施設の統廃合等による維持管理費の削減、さらには企業債借入の抑制による支払利息の縮減を図るなど、効率化の取組を推進してきました。



▲いわき水みらいビジョン概要版

■その他の質問

○「学力日本一の実現」への取組状況は  
○第18次いわき市水道事業経営審議会答申の内容は

詳細はこちらを↓



## 保育料等の無償化により保護者負担の軽減を



創世会  
狩野 光昭



**問** 保育料等の無償化を。  
**答** 財源の課題から困難です。

**問** 小中学生の補助教材費等に係る保護者等の負担軽減を。  
**答** 見直しを促していきます。



### ジェンダー平等の推進を

**問** 女性相談件数は。

**答** 令和4年度は698件で、その内訳は、DV相談313件、家庭不和111件等です。

**問** 女性支援法の施行に伴う実効性ある市の取組は。

**答** 女性相談窓口を周知し、早期の相談支援につなげます。

### 【女性相談】

令和6年4月に施行される「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（略称：女性支援法）において支援対象とされる「性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活または社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性」に対する相談業務。

**問** パートナーシップ制度等の導入を。

**答** 国等の動向を踏まえて検討する必要があると考えます。

### 医師・教職員の多忙化解消の取組は

**問** いわき市医療センター医師に対する取組は。

**答** 医師招聘の強化やタスクシフト等に取り組みます。

**問** 教職員に対する取組は。

**答** 統合型校務支援システムの運用等に取り組んでいます。

**問** 部活動指導員の活用は。

**答** 令和5年度は、8校10人を配置しています。

### 発がん性が疑われる有機フッ素化合物対策は

**問** 令和3～5年度の河川、地下水及び浄水場等の有機フッ素化合物含有量測定結果は。

**答** いずれも、国が示す暫定指針値等を下回る値です。

### 小規模修繕契約希望者登録制度を活用した小規模事業者の育成を

**問** 発注実績を増やす取組は。

**答** 各部署に、小規模事業者への発注依頼を継続します。

**問** 公契約条例の制定を。

**答** 国の動向等を注視します。

**問** その他の質問  
○森林環境の保全  
○森林環境譲与税の見直しに関する国の対応は



### 今後の学校施設整備は

**問** 教職員トイレの洋式化に向けた今後の取組は。

**答** これまで、長寿命化等大規模改修を想定しない学校では、児童生徒を対象に様式化を進めてきました。一方、現在の生活様式を踏まえると、今後は、教職員トイレの洋式化についても、併せて検討していく必要があると考えています。

**問** 全ての特別教室にエアコンを設置する場合の費用は。

**答** エアコンの設置に加え、配線やキュービクルの改修等も含め、概算で40億円程度と見込んでいます。

### 特別教室へのエアコン設置に向けた今後の取組は。

**答** 児童生徒の学習環境の改善を図るため、早急に特別教室へエアコンを整備していく考えです。整備にあたっては、図書室及び音楽室等への設置を基本に、学校の実情に応じ、優先度の高い特別教室3室程度への整備を考えており、今後、整備に向けた手続を進め

ていく考えです。なお、現時点の整備スケジュールは、令和6年度及び令和7年度の概ね2カ年での整備を想定しています。



### 本市の防災教育のさらなる推進を

**問** 地域特性に応じた取組は。

**答** 津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域といった、生徒が実際に住んでいる地域の特性や災害リスクを踏まえた防災教育を実施することにより、災害を自分事として捉える効果や実効性が高まるものと考えています。

また、地域に残る過去の災害の記録や記憶を学ぶことも重要と考えており、これまでも、災害の教訓を残す石碑、「谷」「窪」等の災害に関する地名等を調査し、防災教育の資料に加えてきました。こうした地域について学ぶ取組は、防災意識を高める効果に加え、生徒の主体性や社会性の向上、郷土愛の醸成等も期待できます。今後は防災教育の一環として、地域の歴史



▲防災講座（起震車による地震体験の様子）

### 自治会等への運営支援を

**問** 町内会等運営支援とは。

**答** 職員が、5自治会を直接訪問し、それぞれが抱える個別具体的な課題やニーズ等の調査結果を整理し、自治会ごとに要望事項や問題点を「見える化」したシートを作成するなど、課題解決に向けた伴走型支援を行うものです。

### 好間地区の排水対策の推進を

**問** 雨水の公共下水道事業計画区域への編入は。

**答** 好間地区の市街地を雨水の公共下水道事業計画区域に

位置づけることについて、  
 ①江筋及び河川等の整備状況  
 ②これまでの浸水被害状況  
 ③気候変動の影響等による浸水害の危険度の変化  
 ④市全体の市街地における雨水対策の計画  
 など、これらの要因を総合的に勘案し、検討を進めます。



**公明党 柴野 美佳**  
**子どもまんなか社会を  
 目指して**

**問** 親の就労要件のない「子ども誰でも通園制度」の実施に向けた取組は。

**答** 令和8年度から実施する方針が国から示されているため、実施に向けて検討します。



**市民の健康支援の  
 取組は**

**問** 5歳児健診の実施は。  
**答** 国の動向を注視し、医師会等と協議しながら、実施可

能な手法を検討します。  
**問** 妊娠前の健康管理プレコ  
 ンセプションケアの普及を。  
**答** 市公式ホームページに正しい知識を掲載するなど、啓発を推進します。

**プレコ**ンセプションケア  
 やせや肥満、生理不順等が原因で不妊に悩む女性が増加している傾向にあることから、女性やカップルが、若いうちから、子供の出産の有無を含めた自分たちの生活や健康に向き合うこと。

**重症児者・医療的ケア児者の  
 災害対策は**

**問** 当事者団体の活動をどのように活かしていくか。

**答** 関係団体等と連携し、医療的ケア児の特性を踏まえた実動性ある個別避難計画の作成に努めるとともに、当該計画を関係者間で共有し、適切な避難行動を支援します。

**市営住宅の課題解決に  
 向けて**

**問** 共益費の徴収や管理が大きな負担となっていることから、実態調査が必要では。

**答** 現在、実態調査の必要性を検討しています。

**問** 家賃と共益費を一括徴収すべきでは。

**答** まずは、自治会の負担が大きい浄化槽管理費の徴収について検討します。

**問** 市営住宅の活性化、若者の定住等の効果が期待される  
 単身世帯入居の年齢枠拡大を。

**答** 住宅に困窮している若年単身者の需要を見極めながら、拡大の必要性を検討します。

**■その他の質問**

- 更年期に関する理解促進を
- 帯状疱疹ワクチンの助成を
- 女性目線の防災力強化を
- 災害ケースマネジメントは



**創世会 福嶋あづさ**  
**子供たちのために  
 できることは**

**問** 保育所等訪問支援事業の効果は。

**答** 当該事業は、集団生活の場で不適応が生じている障がい児に対し、訪問支援員が集団活動に加わり、直接的な支援を行うものです。これにより、障がい児は、安心して様々な活動に参加でき、達成感や満足感、自己肯定感を高めることが可能となります。また、

保護者は、子供の育ちへの安心感と保育所等への信頼感が高まります。

**問** 市内公立小中学校の通常学級における発達障がい等の疑いのある児童生徒数は。

**答** 平成30年度は、小学校220名、中学校92名、令和4年度は、小学校330名、中学校158名です。

**問** 発達障がいのある児童生徒の支援員の充実は。

**答** 令和3年度は110名、4年度は130名、5年度は140名に増員配置するとともに、児童生徒の特性への理解を深めるため、研修を通じ、スキルアップを図っています。

**問** 養護教諭欠員時の対応は。

**答** 学級担任、校長及びその他の職員が、児童生徒の保健管理や保健教育に対応します。



**一誠会 田頭 弘毅**  
**本市の健康づくりの  
 取組は**

**問** 「減塩メニューを食べようキャンペーン」の成果と今後の取組は。

**答** 当該キャンペーンは、市内飲食店10店舗において、塩

分摂取量に配慮したメニューを提供し、対象店舗を周遊するスタンプリーパー企画です。参加者からは、「減塩と言わなければならない」、「調味料の工夫で減塩になることを知った」等の感想が寄せられ、家庭での実践につながる減塩のコツを知っていた。機会となりました。今後も、市内の飲食店で気軽に減塩食を食べることが出来る企画を実施していきます。

**いわき市観光物産センター  
 (いわき・ら・ら・ミュウ)の取組は**

**問** オートバイ神社設置の経緯は。

**答** コロナ禍の影響により、アウトドア活動が人気を集めており、バイクツーリングにより、いわき・ら・ら・ミュウを目的地として訪れる方が増加しています。このことから、当該施設における滞留時間を伸ばすとともに、安全なツーリングを祈願するため、設置されました。

**問** オートバイ神社の今後の取組は。

**答** いわき・ら・ら・ミュウを訪れたライダーを対象に独自の特典サービスを実施する

など、来場者の増加につながります。さらに、設備面の充実に向けた協議も行う考えです。



▲オートバイ神社

### 自転車文化の醸成を

**問** 本市のサイクルスポーツの活性化に向けた市長の考えは。

**答** 県知事等に会う際は、常にサイクルスポーツに関する話題を出し、その振興に努めています。私も先頭に立って、様々な取組に向けて、今後も努力していく考えです。

**答** 人材確保のための施策は、産業人財を確保するため、将来の活力を生む若者・女性に焦点を当て、市内にとどめる・呼び戻す・呼び込む必要がある。地元理解の促進と魅力的な働く場の創出を進めます。まず、市内企業等に関する情報発信と市内での就職に関する意識醸成、求職者と市内企業とのマッチングを一体的に行います。

**問** 人材確保のための施策は。



▲令和6年3月に実施したいわき市Hybrid合同企業説明会の様子

### 産業の振興と雇用確保に向けた取組は

**問** 市内企業の挑戦意欲を高めるための施策は。

**答** 企業の挑戦を後押しするため、市は国の事業再構築を支援する制度や、外部人財・知見の活用を促進しています。具体的には、国の事業再構築

補助金の採択を受けた企業に対し、市が上乘せ補助を行い、業種・業態転換や新分野への挑戦を支援しました。

**問** 物価高騰等に対応するための支援は。

**答** 物価高騰等に対し、事業継続に対する緊急支援のほか、コスト削減や、賃金引上げに取り組み事業者に対し、支援を実施しています。

**問** 経済関連団体との意見交換を踏まえ、今後どのような事業者支援を行うか。

**答** 2024年問題を抱える中で、産業活動等を支えている運送事業者に緊急支援を継続し、賃金引上げに率先して取り組むことで人財確保に挑戦する企業を後押しします。

**問** 令和6年度実施の次世代経営者塾開催事業の概要は。

**答** 経営者マインド・ネットワークを有する、次世代の経営者を育成し、様々な講師による座学とワークショップを組み合わせた講座を開催し、スキル向上や意欲喚起など、生産性の向上や、円滑な事業継承につなげていきます。

共産党市議団  
菅野 宗長

### 流域治水対策・医師不足対策の予算への反映は

**問** 共産党市議団の要望を、当初予算にどう反映したか。

**答** 「気候危機から市民の命を守る市政を」では、市管理河川の流域治水対策に取り組む経費を計上しています。「福祉の向上」では、将来の医療人財の育成に向け、小学生から研修医まで切れ目なく医療を学び育てる取組の充実を図る経費を計上しています。

### 路線バスの無料化は

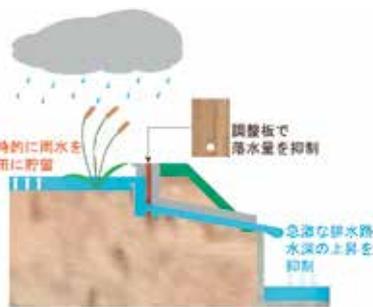
**問** 高齢者や自動車免許返納者への無料化を導入し、路線維持、増加を目指すべきでは。

**答** 無料化により、交通弱者への支援等が期待されるが、他都市で無料化見直しの議論の動きもあり、慎重な検討・議論が必要になると考えます。

### 休耕田を活用した田んぼダムに対する農業者等の理解醸成を

**問** 休耕田を積極的に田んぼダムに活用すべきでは。

**答** 田んぼダムの機能を十分に発揮させるには、休耕田の適切な安全管理が可能となる体制整備が必要であり、農業者等の理解醸成に努めます。



▲田んぼダムイメージ図（国立環境研究所福島地域協働研究拠点ホームページより）

### 学校給食費無償化は

**問** 学校給食費無償化の枠を広げられないか。

**答** 国が課題整理を進めているため、今後も、その動向を注視する考えです。

### 汚染水の流出事故を受けて海洋放出の中止を

**問** 2月7日、福島第一原子力発電所で汚染水流出事故が起きたことから、取り返しがつかなくなる前に海洋放出の中止を求めるべきでは。

**答** 事故原因は、点検手順が守られなかったことにあり、

汚染水浄化設備の機能等に問題はないため、即座に中止を求めものではない考えです。



正論の会  
小野 潤三



### 構造改革を進め 機能する組織に

**問** 市役所内の業務の現状を、どう把握しているか。

**答** 昨年度末の業務量調査では、予算・決算、議会、文書、照会・回答など「全庁共通業務」の割合が本市では2割超、比較した団体（自治体）では約1割で、本来注力すべき業務に十分な時間をかけていない状況が浮き彫りになりました。5年後を目途に1割未満まで減らすことを目指します。

**問** 精度の高い成果指標の設定をどのように行つか。

**答** 今年度、試行的に主要事業に成果指標を設定しました。年頭所感で現状値と5年後の目標を明示し、毎年度、点検・検証を行います。行政リソースの選択と集中につながるよう、精度の向上に努めます。

**問** 予算編成権を各部に委ねる包括予算制度を導入すべき。各部等に責任と権限を持つ

たせ、現場が自走する組織体制を構築する一方、全体最適の視点での意思決定も重要です。議員からお話のあった足立区の包括予算制度等も参考に、新たな行財政運営の仕組みづくり挑戦していきます。



自民党改革の会  
石井 敏郎



### 市道における 通学路の安全対策は

**問** 令和3年度に実施した緊急一斉合同点検により確認された市道の危険箇所対策状況は。

**答** 確認した危険箇所136か所のうち、79か所の対策を行うこととしています。このうち24か所は、令和3年度内に完了しており、残る55か所は、令和4年度から、国の通学路緊急対策事業を活用し、対策を行っています。その内容は、歩行空間の安全性を高めるため、夕暮れ時でも視認性の高い区画線への引き直し、

防護柵の設置、路肩のカラー化等です。進捗状況としては、令和5年度までに79か所中78か所が完了する予定であり、残る1か所も、令和6年度内に完了する見込みです。

**問** 市道の通学路の安全確保に向けた今後の取組は。

**答** 道路パトロール等を通し、危険箇所を把握するとともに、3年に一度の定期点検の結果を受け、新たな危険箇所を確認しています。今後も、危険箇所の把握に努めるとともに、学校や警察等の関係者と連携を密にし、通学路の安全確保に取り組みます。

### 令和5年台風第13号の被害を 踏まえた課題への対応は

**問** 金坂第二排水路整備事業の整備効果は。

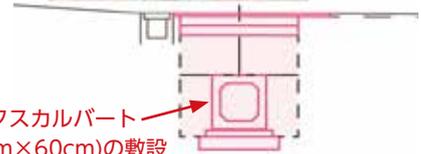
**答** 一般的な小学校の25mプール4杯分に相当する雨水を1時間に排出することで、浸水被害の低減を図ります。

### 金坂第二排水路整備事業 の今後の見通しは。

**答** 被害状況を踏まえ、令和9年度までとしていた事業期間を前倒しし、令和6年度の台風シーズン前の完成を目指します。



▶金坂第二排水路整備事業  
令和6年度施工予定箇所



ボックスカルバート  
(60cm×60cm)の敷設

- その他の質問
- 教員不足への対応
- 放課後児童クラブの待機児童解消に向けた対応
- イノシシ被害への対応



一誠会  
吉田 雅人



### 子供たちの 学びの環境づくりは

**問** 教育予算の定義は。

**答** 市長選挙の際に述べた教育予算の対象は、歳出予算第10款の教育費を指すのではなく、市内の高校生や大学生への教育等も含め、本市の市政課題の解決に資する人材の教育をも含みます。

**問** 市長が後援会報誌で本市の10款教育費の数字を用いて

倍増を掲げた理由は。

**答** 教育費として捉えられる参考資料として提示したものであり、10款を倍増するということ一度も申し上げたこととはありません。

**問** 市長が考える教育予算の推移に係る出発点は。

**答** 倍増を目指す出発点は、私が市長に就任して初めて編成した令和4年度当初予算がベースです。

**問** 教育予算倍増の現状に対する市長の所見は。

**答** 倍増には至りませんが、市長就任後、この2年間あまりで、令和4年度と比べ、4割ほどは増加しました。

### 広報いわきの在り方は

**問** 広報いわきの編集方針は。

**答** 見る側の視点に立ち、市民の皆様が知りたい情報を的確に把握するとともに、市の施策の説明や公表、市民の皆様が生活する上で不可欠な行政情報を、広く周知することです。

**問** 被災者が必要とする情報を、より一層令和5年10月臨時号に載せるべきであったと考えるが、臨時号に対する市

の評価は。

**答** 肯定的な意見がある一方で、市長の活動写真を多く採用したこと、見る方によっては、市長の政治的パフォーマンスに見えるといった印象や、ボランティア募集等、他に掲載すべき情報があったのではないかとの意見につながったと捉えています。



創世会  
鈴木さおり



### 農業危害防止運動の周知に向けた取組は

**問** 令和6年度は、広報いわきに大きく掲載すべきでは。

**答** 市民に関心を持ってもらえるよう工夫して掲載します。

**問** 市民に我が事と認識してもらったため、農業の具体的な危険性も伝えるべきでは。

**答** 国が公表する被害発生状況も周知し、注意喚起します。

**問** 本運動の効果の検証は。

**答** 本運動の実施状況や市民の声を十分に把握し、次年度以降の取組に反映させます。

### 公務員離職者の復職は

**問** 公務員経験者枠の採用試

験を導入すべきでは。

**答** 本市では、社会人経験者枠を設定し、採用しています。

### 避難所の寒さ対策は

**問** 段ボールベッドを速やかに使えるようにする段取りは。

**答** 市内2事業者と流通在庫備蓄により対応する協定を締結しており、国のプッシュ型輸送体制も整備されています。



▲段ボールベッド

**問** 寒さ対策の工夫を避難訓練に取り入れるべきでは。

**答** 今後も、防災訓練や出前講座等を通じ、啓発します。



公明党  
塩沢 昭広



### 防災・減災に関する環境づくりは

**問** およこ防災キャンプのさ

らなる取組の拡充は。

**答** 今回は、30組の募集に対し、54組の応募がありました。今後、より多くの方が参加できるように、他の地域でも実施する必要が考えられています。そのためには、登録防災士、自主防災組織、消防団、学校と連携を図りながら、地域主体の実施体制の構築が重要です。市としては、今回の取組内容を登録防災士等と共有し、意見交換等を通じて各地域の災害リスクに応じた事業展開が図られるよう、体制づくりを進めます。また、地域の防災リーダーである防災士の企画力や指導力を高めるため、今後も継続して、災害対応に係る幅広い知見を学ぶ機会や避難所開設から運営までの様々な場面を想定した実践的な研修を実施します。



▲およこ防災キャンプの様子

### 介護保険制度は



共産党市議員  
高橋 明子



**問** 75歳以上の高齢者が増える中、訪問介護の需要は。

**答** 要介護者の在宅生活を支え、介護者の負担軽減を図るサービスとして、今後、需要は高まると認識しています。

**問** 介護保険制度開始時、65歳以上の方の保険料月額、65歳以上の方の保険料月額は、全国平均2911円であったが、現在は6014円と高額であるため、公費5割負担の制約を取り払い、必要な公費の投入を国に求めるべきでは。

**答** 全国市長会等を通じ、国庫負担割合の引上げ等の見直しを、継続して提言します。

### 低所得者の妊婦等に対する初回産科受診料の支援を

**問** 支援制度の概要は。

**答** 上限1万円で助成します。

**問** 所持金のない妊婦等には、実質窓口で無料とする考えです。

**答** 実質窓口で無料とする考えです。



### 住民自治と最近の議会改革の取組

～「住民自治の根幹」としての議会を作動させる～

講師

大正大学社会共生学部公共政策学科  
教授 江藤 俊昭 氏

令和6年1月17日（水）、会津若松市において、東北市議会議長会・福島県市議会議長会の共催による研修会が開催され、本市議会議員が出席しました。



▲研修会の様子

令和5年度

福島県市議会議員  
研修会

令和6年度

<いわき市一般会計補正予算(第1号)>

補正予算の総額 5億330万8,000円

詳細はこちらを→



— 主な事業は次のとおりです —

1 子育て世帯 に対する支援

▶小・中学校における学校給食費の高騰対策  
1億6,834万6,000円

【助成額】—第3子以降負担なし—  
・小学生：約600円相当/月  
・中学生：約700円相当/月



▶保育所・幼稚園等における給食費の高騰対策  
3,372万6,000円

【助成額】 330円/月

2 地域公共交通・地域観光業等 に対する支援

▶観光業需要回復支援事業費 1億724万円  
市内宿泊施設の宿泊割引クーポンを下表のとおり発行

割引額	クーポン発行枚数	合計(予定)
2,000円	2,000枚	12,000枚
5,000円	5,000枚	
10,000円	5,000枚	

【事業期間】  
令和6年9月から  
令和7年3月まで

▶公共交通担い手確保支援事業費補助金 NEW 1,320万円  
市内交通事業者に対し、従業員の第二種免許取得等に要する経費の一部を補助

3 農林水産業 に対する支援

燃料価格の高騰により受ける負担の軽減や事業経営の安定を図るため、次のとおり燃料費高騰分を補助

▶施設園芸農家緊急支援事業費補助金 3,896万円

区分	補助単価
A重油・灯油	16円以内/ℓ
LPG	20円以内/kg



▶林業・木材産業等緊急支援事業費補助金 3,752万1,000円

区分	補助単価
A重油・灯油・軽油	16円以内/ℓ

4 中小企業等 に対する支援

▶事業継続支援金 (運送事業者・古紙回収事業者等) 2,372万5,000円  
燃料価格の高騰により受ける負担の軽減や事業経営の安定を図るため、下表のとおり支援金を給付

区分	車種	給付単価/台
運送事業者	トラック・軽貨物・運転代行	5,000円
港湾運送事業者等	重機・トラック・移送バス等	5,000円
古紙回収事業者	古紙回収車	15,000円

次期定例会日程(予定)のお知らせ

次期定例会は6月6日(木)から6月20日(木)までの会期で開催される予定です。

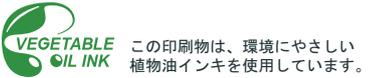
月日	開会時刻	会議内容
6月6日(木)	午前10時	本会議(初日)
6月7日(金)		休会
6月8日(土)		休会
6月9日(日)		休会
6月10日(月)	午前10時	本会議(一般質問)
6月11日(火)	午前10時	本会議(一般質問)
6月12日(水)	午前10時	本会議(一般質問)
6月13日(木)	午前10時	本会議(一般質問)
6月14日(金)	午前10時	常任委員会
6月15日(土)		休会
6月16日(日)		休会
6月17日(月)	午前10時	常任委員会
6月18日(火)	午前10時	特別委員会
6月19日(水)		休会
6月20日(木)	午前10時	本会議(最終日)

※ 日程、開会時刻は質問者数や議事の内容等により、変更になる場合があります。

表紙写真

四倉町は、江戸時代から昭和初期頃まで、カツオの水揚げが盛んな町でした。明治35年には、「鯨節改良伝習所」が開設され、水揚げされたカツオを鯨節にして、全国に出荷してまいりました。四倉諏訪神社の境内には、「改良鯨節之碑」が建立・安置されています。かつおのぼりは、毎年4月1日から5月末日まで、同神社に掲揚されています。太平洋をバックに大空を雄大に泳ぐかつおのぼりを、ぜひ御覧になってはいかがでしょうか。

2月定例会は、新年度の当初予算が提出されることから、定例会の中でも特に重要なものです。20名の議員が、代表・一般質問に登壇し、執行部と議論を行いました。また、各常任委員会は、事業予算について慎重に審議され、多くの質疑・要望討論が行われました。そのすべてを載せることは、紙面の都合上叶いませんが、市議会ホームページで御覧頂ければ幸いです。議会議報「ほうねんそう」は、今年度も、市議会の様子をお手元にお届けいたします。(議会編集委員会委員)



いわき市議会ホームページ  
インターネットの検索サイトで、[いわき市議会](#)で検索してください。

